

令和3年度 地域包括支援センターの認知症施策に関する取り組み

包括	目標	具体的な取り組み	
第一	認知症になっても、最後まで住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域づくりを目指します。	若い世代や職域サポーターを養成する。	認知症サポーター養成講座の開催：年4回
		みまもりあいアプリを活用して搜索模擬訓練を実施する。	搜索模擬訓練の実施：年1回
		チームオレンジ活動を推進する。	①既存のオレンジカフェの定期訪問、交流会 ②オレンジカフェ新設：1ヶ所 ③チームオレンジ連絡会：年2回
第二	認知症になっても暮らしやすい地域のサポート体制を整える。	チームオレンジ「きずな」の活動として企業と連携して認知症予防や介護予防についてリモートで地域をつなぎ情報発信を行う。	年2回活動（旗指・上野田・落合などをリモートでつなぐ） ①10月：企画 ②12月・2月：実施
		認知症患者や介護者及び地域の方が気軽に相談できる機会を作る。	①出張相談会の開催場所と方法を検討する。 ②しまトレ実施場所への出張相談会を試験運用する。 ③アンケート実施・出張相談の評価を行う。
		第二中学校区の企業を中心に認知症サポーター養成講座の案内を配布するとともに年3回実施をする。	15事業所へ講座案内を配布するとともに講座開催を年3回実施する。
六合	住民の方への認知症の理解のために普及活動を行い、認知症の方が住みやすい地域にする。	認知症の基礎知識を伝え、地域で見守る応援者として活動できる機会を増やす。	①認知症サポーター講座の開催：年5回 ②チームオレンジ連絡会：年3回
		関係機関と連携し認知症の方や支える方々が気軽に集まったり相談できる場を紹介、提供する。	①認知症カフェ開催：年3回 ②運営推進会議の参加：年6回 ③地域活動内でカフェのPR(随時) ④地域活動内で認知症支援推進委員の活動の紹介(随時)

包括	目 標	具体的な取り組み	
初倉	認知症になっても、地域で支えあ いながら住み慣れた場所で生活 できるよう支援します。	認知症の方、介護者が相談・交流できる機会をつくる。	①認知症カフェの開催：年6回 ②チームオレンジ連絡会：年5回
		幅広い世代に認知症を周知し、サポーターとして活動してもらう。	認知症サポーター養成講座の開催 ①初倉小・初倉南小・初倉中学校：年1回ずつ ②はつくらこども食堂：年1回 ③ほっと月坂(ふれあい)・南原いきがいクラブ(ふれあい)(年1回ずつ)
金谷	認知症になっても住み慣れた地 域でその人らしく安心して暮らせ る地域づくりを目指します。	認知症サポーターを増やし地域での理解を深められるようにする とともに専門職と連携をとり認知症患者と介護者が相談、交流す る場を作る。	①認知症サポーター養成講座：年3回 ②チームオレンジ茶つきり連絡会：年2回 ③認知症カフェの開催：年1回
		福祉教育を通して高齢者への理解と支援の必要性を若い世代に 伝えていく。	①小中高生を対象とした認知症サポーター養成講座開催：年2回 ②金谷高校、放課後児童クラブ等にポスター依頼し、地区内公民 館に掲示
川根	認知症の理解を深めるための周 知・啓発活動を行い、多世代で支 え合う地域づくりを推進します。	様々な世代に認知症に対する正しい知識と理解を広げ、地域の 担い手づくりに取り組む。	①認知症サポーター養成講座：年4回 ②認知症予防講座：年3回
		認知症の方を地域で支える体制づくりをチームオレンジ、認知症 キャラバンメイト、認知症サポーターと共に行う。	①認知症キャラバンメイト連絡会：年1回 ②チームオレンジちゃのみ定例会：月1回 ③チームオレンジの新規立ち上げ：1ヶ所
		認知症カフェへ参加し、認知症に関する周知活動及び相談支援 を行う。	駅前お茶飲み会：月1回